

BioCIS データベース製作者マニュアル

第 0.3 版

2005/09/14

北興情報開発株式会社
戸田正憲、松下剛太郎

目次

1. 概要
2. 起動・終了方法
3. 管理画面トップ
4. メニューと登録順番
5. 構造
6. 分類階級
7. 分類群
8. 形質グループ
9. 形質定義
10. 形質の値
11. 条件検索
12. バックアップと復元
13. データベースの説明
14. 未分類群
15. Excel データについて

データベース構築の推奨手順

1. 概要

データベースの登録・更新・削除などの管理機能を提供する。

データベース製作は事前登録ユーザのみ可能。

複数の分類データベースを格納、英語・日本語に対応。

データベースのバックアップと復元が可能。

データをエクセル形式に出力し、編集したデータをエクセル形式から再びデータとして適用可能。

2. 起動・終了方法

起動方法

ブラウザで、以下の URL にアクセスする。

<http://biokey.museum.hokudai.ac.jp/Classification/>

画面右上のログインフォームにユーザ名とパスワード（事前登録時にシステム管理者が発行）を入力する。

終了方法

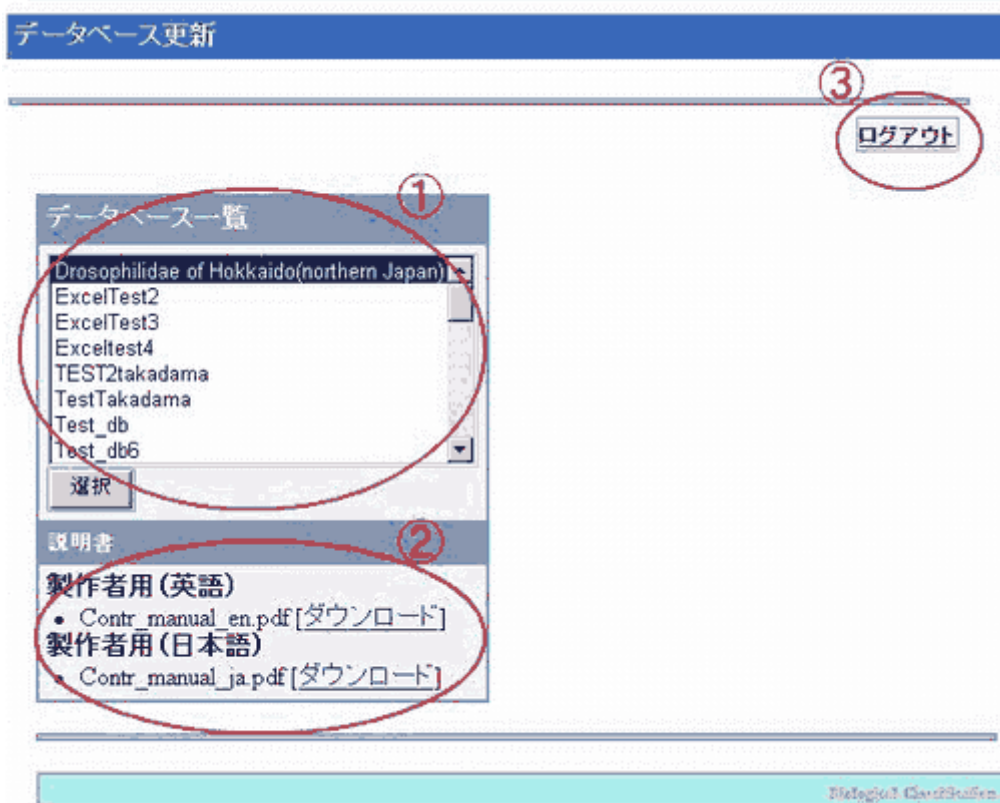
『ログアウト』をクリックしてログアウトを必ず行う。

ログアウト処理が終わってからブラウザを閉じる。

2. 起動・終了方法 / 制限事項

- ・ ログアウトしないと、30分間再ログインできない。
- ・ 同一データベースは、複数の製作者を登録できるが、同時には使用できない（1人の製作者がアクセス中は、ログアウトするまで、他の製作者は、同一データベースにアクセスできない）。
- ・ 基本ブラウザは、Internet Explorer。他のブラウザでアクセスした場合には、画面が正しく表示されなかったり、機能が不正常になることがある

3. 管理画面トップ



データベース一覧

更新するデータベースを選択する。

説明書

製作者用のマニュアルをダウンロードする。

ログアウト

管理画面を終了し、BioCIS のトップに戻る。

4. メニューと登録順番

データベースを選択後に表示されるメニュー画面である(画面左側)。

各メニューは以下の通り。

構造

データベースの構造を定義する。

分類階級

分類階級の名称と属性項目の使用有無を登録する。

分類群

分類階級に従う各階級毎の分類名と画像を登録する。

形質グループ

形質のグループ名と値を登録する。

形質定義

形質の状態と画像を登録する。

形質の値

末端分類群毎に形質の状態値を登録する。

条件検索

高次分類群選択を可能にする階級を登録する。

形質グループ選択を可能にする属性を登録する。

バックアップと復元

データベースのバックアップと、その復元を行う。

データベースの説明

データベースの説明を登録する。

未分類群

形質の状態値からは分類できない末端分類群を一覧で表示する。

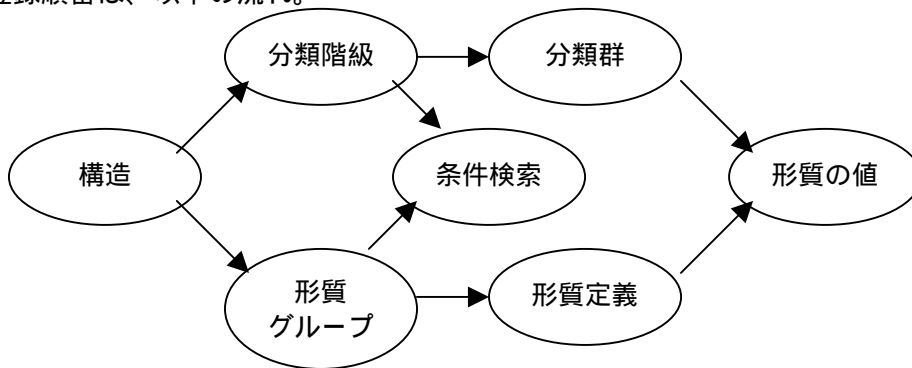
戻る

データベース選択画面へ戻る。

ログアウト

管理画面を終了し、BioCIS トップへ戻る。

登録順番は、以下の流れ。



4.メニューと登録順番 / 制限事項

< 登録順番 >

- ・ WEB での登録と Excel アップロードによる DB 入れ替えで制限事項が異なる。
Excel アップロードは、「15.Excel データについて / 制限事項」を参照。

< 話を WEB での登録に限定すると、 >

- ・ 登録順番の流れでデータを登録し、基本的に構造上、後戻りを許可していない。
- ・ 登録順番の前のメニューで登録変更を行った時は、後のメニューは再登録になる。

例): 運用ルール

- ・ 「形質の値」登録後には、「分類群」、「形質定義」は変更しないものとする。
- ・ 「分類群」登録後、「分類階級」は変更しないものとする。
- ・ 「形質定義」登録後、「形質グループ」は変更しないものとする。
- ・ 「構造」を変更する場合、DB の作り変えとなる。

5. 構造

データベースの構造を定義する。

構造

分類名 drosophilidae

分類階級数 5

形質グループ数 3

自由使用許可 True False

アップロード

ダウンロード

1

画像: 分類群

標準

画像フォーマット テスト

画像サイズ: 縦 200

画像サイズ: 横 200

縦横比率固定 True False

サムネイル

画像フォーマット jpeg

画像サイズ: 縦 50

画像サイズ: 横 50

縦横比率固定 True False

2

画像: 形質

標準

画像フォーマット jpeg

画像サイズ: 縦 200

画像サイズ: 横 200

縦横比率固定 True False

サムネイル

画像フォーマット jpeg

画像サイズ: 縦 50

画像サイズ: 横 50

縦横比率固定 True False

3

設定 削除 リセット

分類名：通常は、システム管理者に登録したデータベース名を入力する。

分類階級数と形質グループ数を入力する。

データベースの公開・非公開(True/False)を設定する。

『ダウンロード』ボタンはデータベースを Excel ファイルに出力し、『アップロード』ボタンは Excel ファイルをデータベースに入力する。

Excel ファイルの形式は、「15. Excel データについて」を参照。

分類群で使用する画像のフォーマットを設定する。

形質定義で使用する画像のフォーマットを設定する。

5.構造 / 制限事項

- ・ 分類名、分類階級数、形質グループ数は一度登録したら、変更できない(変更する場合は、対象データベースを削除して、再度登録する)。
- ・ MAC の Internet Explorer からは、『アップロード』ボタンが機能しない。

< 画像に関して >

- ・ 標準は、オリジナル画像登録に関する設定であるが、現在、この登録機能は動作していない。

オリジナル画像は、サイズ変更なしで取り込む。以下の画像変換は行う。

BMP ->JPEG (変換あり)
GIF ->GIF (変換なし)
JPEG ->JPEG (変換なし)

- ・ サムネイルは、縦のサイズのみを使用し、縦横比率は固定で、JPEG に変換する。
- ・ サムネイルのサイズは、画像登録時に適用するため、既に登録した画像のサイズは自動変換しない。
- ・ アップロードできるファイルサイズは、1 画像当たり 10 MB まで。

6. 分類階級

分類階級の名前と形質、画像、URL 項目の使用の有無を登録する。

分類階級	
階級1	
名前	レイヤーテスト
形質	True <input type="radio"/> False <input checked="" type="radio"/>
画像	True <input type="radio"/> False <input checked="" type="radio"/>
URL	True <input type="radio"/> False <input checked="" type="radio"/>
階級2	
名前	レイヤーテスト2
形質	True <input type="radio"/> False <input checked="" type="radio"/>
画像	True <input type="radio"/> False <input checked="" type="radio"/>
URL	True <input type="radio"/> False <input checked="" type="radio"/>

『分類群』の各階層で、階層名と項目の使用の有無(True/False)をセットする。

6.分類階級 / 制限事項

- ・ 画像は、末端分類階級のみに登録できる。
- ・ 検索画面で、形質、URL を参照できる画面は、現時点ではなし。
現在、末端分類階級の画像 True/False の登録のみが有効。他は、全て False でよい (True にしても機能しない)。

7. 分類群

分類階級ごとの分類群名と末端分類群の画像を登録する。

分類群

階級 4: レイヤーテスト4

階級 3

戻る

blank

階級 5

次へ

1

クリア

選択

削除

選択済み

Amiota

Amiota

alboguttata

2

全解除

階級 4

名前

形質 disabled

URL disabled

3

階級 5

画像追加

画像タイトル disabled

画像説明 disabled

画像アップロード

SELECT

4

< 新規登録時 >

最上位分類階級から順に分類群名を登録する。

の名前に分類群名を入力し、『設定』ボタンを押して登録する。

直前に登録した分類群が選択された状態になるので、『クリア』ボタンで初期状態に戻す。

次の分類群名を登録する。

最上位階級から一つの分類群をクリックし、『次へ』ボタンですぐ下の階級に移り、の登録を繰り返す。

最上位と最下位の階級以外で、分類群名を空欄とする場合には、名前の入力欄を空白のまま『設定』ボタンを押す。

以上の登録を繰り返す。末端分類群の画像は後から登録した方がよい。

『戻る』ボタンで一つ上の階級へ戻ることができる。

< 既存登録の操作 >

目的とする分類群を選択する。

『次へ』ボタンでその階級の下階級を表示する。

『戻る』ボタンで一つ上の階級へ戻る。

『選択』ボタンでその階級の名前や画像（末端分類群のみ）を に表示する。


『削除』ボタンはその分類群とそれに属す全ての下位分類群を削除する。


で選択した各階級分類群の一覧。『全解除』ボタンで全てを初期状態に戻す。

で選択した分類群の詳細（現在は名前のみ）を表示する。

で選択した末端分類群に画像を追加する。

末端分類群に画像が登録済みの場合、 の下に、以下のように登録画像情報を表示する。

画像	
画像タイトル	A_ALBILABRIS
画像説明	1999/03/19
画像アップロード	SELECT 
画像タイトル	A_ALBILABRIS_HEAD



画像の差し替えは、『画像アップロード』フォームに別の画像をセットする。

画像が複数ある場合、『上へ』『下へ』ボタンで順序の入れ替えができる。検索画面には、上からの登録順番で画像参照する。1画像出力には、最上位の画像を使用する。

画像を削除する場合、「画像タイトル」を空白にして登録する。

画像一覧のサムネイルを選択すると、オリジナル画像を参照できる。

7.分類群 / 制限事項

- ・ 6.分類階級 / 制限事項を参照。
- ・ 分類群削除は、指定分類群を含む下位分類群を全て(画像を含め)削除するので、注意が必要！
- ・ 「10.形質の値」を登録後、WEBでの分類群の名称は変更しない。変更した場合、形質状態値と分類群の関係がなくなり、検索が想定した結果を出力できない。
- ・ WEBでの分類群の名称変更後、Excelファイルのアップロード時に、画像情報との関連付けが切れるため、現段階では、分類群の名称変更後、画像の再登録が必要となる(Excelアップロードするまでは、WEBでの名称変更後も画像関連付けは保持する)。

8. 形質グループ

形質のグループ名と値を登録する。

形質グループ

Class - single
パーツ - single
性別 - multiple

選択 クリア 削除

グループ

タイプ選択 Single Multiple

グループ名 パーツ

項目

名前 頭

説明

名前 Thorax

説明

< 新規登録時 >

構造->分類階級->分類群(1件以上)を登録しないと、登録できない。

構造を登録すると、自動的に“Easiness”という形質グループ属性が定義される。

『クリア』ボタンを押し、新規入力可能とする。

グループ名を入力、タイプ選択をセットして、『設定』ボタンを押すと、グループ名がリストに表示される。

タイプ選択は、形質の属性として形質グループ値を登録する際に、選択方法を指定するためにある。

Single : グループ値から択一選択のみ

Multiple : グループ値から複数選択可

例) 形質を性別によってグループ化する場合、雄にしかない形質、雌にしかない形質、両方に共通の形質がある。このような場合、性別という形質グループ属性のタイプは、Multiple に設定しておく。

値の登録は、リストから形質グループを選択し、『選択』ボタンを押す。

最初の項目について、名前(説明: 無くてもよい)を入力、『設定』ボタンを押す。後は、< 既存登録の操作 > に同じ。

< 既存登録の操作 >

リストから形質グループを選択し、『選択』ボタンを押すと各入力欄に値が表示される。

各入力欄の値を編集し、画面下部の『設定』ボタンを押すと、値を適用する。画面最下部の『項目追加』欄に入力し、『設定』ボタンを押すと項目が追加できる。

項目の名前欄を空白にして、『設定』ボタンを押すと当該項目を削除できる。『削除』で、リストで選択した形質グループを削除する。

8.形質グループ / 制限事項

- ・ 「5.構造」登録時、Easiness を自動登録する。

分類群を絞り込むのに有効な形質(ユーザーズマニュアル参照)を評価する指標の1つとしてつかわれているので、Easiness は削除、内容変更できない。もし Easiness を形質グループとして使わない場合は、『形質定義』 / 『形質』の入力画面で、全ての形質について、Easiness の値を 1 にする。また、『条件検索』 / 『グループ』で、Easiness を False にする。

9. 形質定義

三画面から構成され、『形質』->『状態』->『画像』の順番で登録する。

形質

< 新規登録 >

『クリア』ボタンで入力欄を初期化し、全ての項目を入力して『設定』ボタンを押す。

入力内容

形質 No.	形質名称を入力（同じ名称の重複使用は不可）。
形質グループ	形質グループで登録したグループごとに値をセット。
記述	形質の説明文（主語）を入力。
タイプ	形質のタイプがコード(Code)か数値(Number)かを指定。コードは形質状態をマスタ管理。数値は、マスタ管理しない。「形質の値」で生の数字が入る。

< 既存登録の操作 >

画面上部のリストから目的の形質を選択し、『選択』ボタンを押す。

更新時、各入力欄の値を編集し、『設定』ボタンで適用する。

削除時、『削除』ボタンを押す。

状態

1: 形質 2: 状態 3: 画像

形質定義

H1-2-頭-Male:Female-code-頭
H2-2-頭-Male:Female-code-Profile angle between frons and face
H3-1-頭-Male:Female-code-Distinct, median, black, longitudinal stripe on frons
H4-3-頭-Male:Female-code-Ocellar triangle
H5-2-頭-Male:Female-code-Ocellar setae
H6-2-頭-Male:Female-code-Orbito (distance between proclinate and posterior reclin
H7-2-頭-Male:Female-code-Anterior reclinate orbital

選択 クリア 削除

状態

状態	記述
0	as broad as thorax
1	broader than thorax

To 'Code', use of ¥ < > | & ; : . / ? * is impossible.

設定 リセット

画面上部のリストから目的の形質を選択し、『選択』ボタンを押す（『形質』画面で選択しておいて、『状態』ボタンを押してもよい）。

形質の新規登録後は、状態の入力欄は空白になっており、入力して『設定』ボタンで登録する。

既存登録の状態に関しては、各入力欄を編集し、『設定』ボタンで適用する。

入力内容

状態	タイプ=コード指定時、形質状態コード値をセット。
記述	各コードに対応する形質状態の説明文（述語）を入力。

形質で、タイプ=数値を指定した場合、状態は登録しない。

既にある形質の状態を空欄にして適用すると、その形質を削除する。

画像

1: 形質 2: 状態 3: 画像

形質定義

H1-2-頭-Male:Female-code-頭
H2-2-頭-Male:Female-code-Profile angle between frons and face
H3-1-頭-Male:Female-code-Distinct, median, black, longitudinal stripe on frons
H4-3-頭-Male:Female-code-Ocellar triangle
H5-2-頭-Male:Female-code-Ocellar setae
H6-2-頭-Male:Female-code-Orbito (distance between proclinate and posterior reclinate orbital
H7-2-頭-Male:Female-code-Anterior reclinate orbital

選択 クリア 削除

状態

[0] - as broad as thorax
[1] - broader than thorax 選択

画像

タイトル テスト 上へ

説明 テストデータ 下へ

アップロード SELECT 下へ

画像追加

タイトル

説明

アップロード SELECT

設定 リセット

画面上部のリストから目的の形質を選択し、『選択』ボタンを押す（『形質』あるいは『状態』画面で選択しておいて、『画像』ボタンを押してもよい）。

次に画面中段部の形質状態リストから目的の形質状態を選択し、『選択』ボタンを押す。

画像が既に登録済みの場合、画像のタイトルと説明が各入力欄に出力される。

新規登録時、画面最下部の『画像追加』欄にタイトル・説明を入力し、『アップロード』欄の横の『SELECT』ボタンで画像ファイルを参照し、『設定』ボタンを押す。

画像の差し替えは、既存画像の『アップロード』欄の横の『SELECT』ボタンで差し替え画像ファイルを参照し、『設定』ボタンを押す。

複数画像の登録時には、『上へ』『下へ』ボタンで順序を入れ替えることができる。検索画面には、最上位の1画像（各形質状態ごとに）が表示される。全登録画像表示では、登録順の上から表示する。

タイトルを空にして適用すると、画像を削除する。

9.形質定義 / 制限事項

- ・ 「10.形質の値」を登録後、形質の名称は変更しない。変更した場合、形質の値と形質定義の関係がなくなり、検索が想定した結果を出力できない。
- ・ WEB で形質の名称を変更すると、Excel ファイルのアップロード時に、画像情報との関連付けが切れるため、現段階では、形質の名称変更後、画像の再登録が必要となる(Excel アップロードするまでは、WEB での名称変更後も画像関連付けは保持する)。
- ・ 『削除』ボタンを押すと、「形質の値」で参照しているか否かに関わらず、削除してしまう。

10. 形質の値

末端分類群ごとに形質状態の値を登録する。

形質状態の値が未入力の場合、分類群は『noData』と表示される。

全分類群のリストの中から登録する分類群を選択する。

リスト				
	Amiota	alboguttata	albilabrisTEST	noData
	Amiota	alboguttata	delta	
	Amiota	alboguttata	dispina	
	Amiota	alboguttata	falculis	
	Amiota	alboguttata	falculis	

分類群を選択すると、以下の「形質の値」登録画面となる。

形質の値	
レイヤーテスト;Amiota-レイヤーテスト5: delta	
設定 リセット 削除 戻る	
H1:頭	
<input checked="" type="checkbox"/> 0:as broad as thorax	<input type="checkbox"/> 1:broader than thorax
H2:Profile angle between frons and face	
<input checked="" type="checkbox"/> 0:obtuse	<input type="checkbox"/> 1:rectangular
H3:Distinct, median, black, longitudinal stripe on frons	
<input checked="" type="checkbox"/> 0:absent	<input type="checkbox"/> 1:present

各値を入力し、『設定』ボタンで適用する。

各形質に複数の形質状態値を入力できる：コード形質の場合は、複数の状態値をクリックする。数値形質の場合は、複数の数字を；セミコロン で区切って入力する。

『リセット』ボタンは登録前の状態に各値を戻す。

『削除』ボタンはその分類群の形質状態値を全て削除する。リストでは『noData』と

なる。

『戻る』ボタンで分類群一覧画面へ戻ることができる。

10.形質の値 / 制限事項

- ・ 形質状態の値を登録後、分類群（最上位あるいは最下位）の名称を変更すると、リストでは、当該分類群の形質状態値は「noData」になる。
- ・ 形質状態の値を登録後、形質の名称を変更した場合、当該形質の値は再登録しなければならない。

11. 条件検索

『階級』ボタンで、検索対象とする高次分類群絞り込みを可能にする分類階級を指定する。

『グループ』ボタンで、選択形質の絞り込みを可能にする形質グループを指定する。

True とした項目のみについて絞り込みが可能となり、検索画面に表示される。『設定』ボタンで適用する。

設定例)

階級 : 5 階級の場合、1 ~ 4 階級まで、True にする。

グループ : 全てを True にする。

11.条件検索 / 制限事項

- ・ 設定を変更する際は必ず一度『削除』ボタンを押して設定を初期化すること。

12. バックアップと復元

データベースのバックアップと復元を行う。

コメント	日付
バックアップ コメント更新	復元先 Drosophilidae of Hokkaido(northern Japan) 2005/08/08 15:07:34 復元
new コメント更新	復元先 Drosophilidae of Hokkaido(northern Japan) 2005/07/28 11:30:04 復元
C_test コメント更新	復元先 Drosophilidae of Hokkaido(northern Japan) 2005/07/26 11:04:31 復元

『現在のバックアップ』ボタンで現在登録中のデータベースのバックアップを行う。コメント欄に記入された文章はメモとなる。空欄でも構わない。

バックアップ時に記入したコメント表示、更新を行う。適時、更新できる。

『復元』ボタンでその日付の状態にデータベースを復元する。また、復元先を他のデータベースに指定することができる。

13. データベースの説明

データベースの説明を登録する。

説明入力欄作成	
COMMENT aaa	test
COMMENT cc	aa

設定 リセット

説明文が複数項目ある場合、ここでその項目数分の入力欄を設定する。

左側の一行テキスト入力欄が項目のタイトルで、右側の複数行テキスト入力欄が説明文となる。

13. データベースの説明 / 制限事項

- 入力欄を設定すると既存の説明文は消えてしまうので注意。

14. 未分類群

このメニューを選択すると、現在のデータベースに登録されている形質の状態値では区別できない末端分類群を一覧表示する。

レイヤーテスト	レイヤーテスト2	レイヤーテスト3	レイヤーテスト4	レイヤーテスト5	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7
Amiota	Amiota			furcata	0	0	0	0	0	0	0
Amiota	Amiota			subfurcata	0	0	0	0	0	0	0
Amiota	Amiota			subfurcata	0	0	0	0	0	0	0
Amiota	Amiota			furcata	0	0	0	0	0	0	0
Stegana	Stegana			taba	0	0:1	0	0	0	0	0
Stegana	Steganina			toyaensis	0					0	0

一覧表の構成

1行目	見出し 黒色の項目：分類階級の名前 灰色の項目：形質の名前
2行目～	形質状態値からは区別できない分類群 灰色の行：チェック対象の分類群 白色の行：チェック対象の分類群に対して、区別できない分類群 形質の欄には、形質状態値を出力。

15. Excel データについて

Excel ファイルのダウンロード/アップロードは、バックアップを目的にしたものではなく、データの加工を主にオフラインで行うために、提供されている。

構造登録画面でダウンロード/アップロードする Excel ファイルは以下の形式である。
3シートを使用。シート名は変更できない。

シート名	説明
Character Matrix	「形質の値」のデータ
Character Group	「形質グループ」のデータ
Character Definition	「形質定義」のデータ

画像データは、Excel ファイルでは管理していない。

WEB 登録(オンライン)では、登録順番(「4.メニューと登録順番」を参照)があり、後戻りを基本的に許可していないが、Excel ファイルのアップロードは、構造登録後、画像以外のデータを Excel ファイル内で全て編集し(オフライン)、登録できるメリットがある。

シート：Character Matrix

	A	B	C	D	E	F	N	O	P	Q
1					Character	H8	H9	(B)	H10	H11
2					Type	code	code		number	numb
3					Easiness	2	2		2	1
4					Part	Head	Head		Head	Head
5					Sex	Male;Female	Male;Female		Male;Female	Male;
6	Genus	Subgenus	Species-group	Species-st	Species					
7	Amiota	Amiota	alboguttata		albilabris	2;3	0		4;5	2;3;4
8	Amiota	Amiota	alboguttata		delta	2;3	0		3;4	2;3
9	Amiota	Amiota	alboguttata		dispina	2;3	0		3;4	2;3
10	Amiota	Amiota	alboguttata	(A)	falcilis	2;3	0	(C)	3;4	2;3
11	Amiota	Amiota	alboguttata		forficula	2;3	0		7;8;9	3;4;5
12	Amiota	Amiota	alboguttata		sigma	2;3	0		4;5	3;4
13	Amiota	Amiota	alboguttata		subtusradiata	2;3	0		5;6	2;3
14	Amiota	Amiota	alboguttata		trifurcata	2;3	0		5;6	3;4
15	Amiota	Amiota	basdeni		clavata	2;3	0		4;5	3;4
16	Amiota	Amiota	basdeni		elongata	2;3	0		4;5	3;4
17	Amiota	Amiota	basdeni		flagellata	2;3	0		5;6	3;4
18	Amiota	Amiota	rufescens		stylopyga	2	0		6;7	4;5
19	Amiota	Amiota	taurusata		aquilotaurusata	2;3	0		4;5	3;4
20	Amiota	Amiota	taurusata		taurusata	2;3	0		4;5	3;4;5

シートの構成

ピンク部分	固定枠	形質の名前(Charactor)とタイプ(Type)
緑色部分	可変枠*	形質グループ 例) 3形質グループ：構造で指定。
オレンジ色部分	可変枠	分類階級 例) 5階級：構造で指定。
黄色部分		境界線 削除しないこと。
(A)部分		分類群
(B)部分		<p>形質定義</p> <ul style="list-style-type: none"> Character は、形質の名前を入力。 Type は、code/number のいずれかを入力。 Character Group に複数值を入力する場合は、セミコロン(;)で区切る(シート：Character Group の Select Type=multiple の形質グループが対象)。 形質名は、シート：Character Definition の Character と一致させること。 形質グループの値は、シート：Character Group と一致させること。
(C)部分		<p>形質状態値</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数值の場合は、セミコロン(;)で区切る。 値=空白も許容する。 形質の Type=code の場合、シート：Character Definition の Value と一致させること。

*ただし、Easiness は固定

Excel シートはゼロから作成できるが、構造、分類階級、形質グループを登録し、Excel のダウンロードをすると、テンプレートとして使用できるため、この方法をお勧めする。

シート：Character Group

1	Character Group	Select Type	Item Name	Item Description	Item Name	Item Description	Item Name	Item
2	Easiness	single	1		2		3	
3	Part	single	Head		Thorax		Wing	
4	Sex	multiple	Male		Female			
5								
6								

シートの構成

1 行目	見出し
2 行目 ~	データ

カラム名	個数	説明
Character Group	1	形質グループ名
Select Type	1	形質グループ値が択一か複数かを指定。択一：single、複数：multiple
Item Name Item Description	複数	形質グループの値。 「Item Name」は必須。登録する値の分だけ「Item Name」、「Item Description」を入力。ただし、「Easiness」グループは、「構造」登録時に自動作成され（値の数：3、値：1、2、3）、削除、変更不可。

シート：Character Definition

	A	B	C	D	E
1	Character	Character Description	Value	Value Description	Value
2	H1	Head	0	as broad as thorax	1
3	H2	Profile angle between frons and face	0	obtuse	1
4	H3	Distinct, median, black, longitudinal stripe on frons	0	absent	1
5	H4	Ocellar triangle	0	not very large	1
6	H5	Ocellar setae	0	situated inside triangle made by ocelli	1
7	H6	Orbito (distance between proclinate and posterior reclinate)	0	1<	1
8	H7	Anterior reclinate orbital	0	situated behind or beside proclinate orbital	1
9	H8	Rorb (anterior reclinate orbital / posterior in length)	0	<=0.25	1
10	H9	Fronto-orbital plate	0	not so much broadened	1
11	H10	Number of upper branches of arista	4		5
12	H11	Number of lower branches of arista	0		1
13	H12	Vb (subvibrissal / vibrissa in length)	0	<=0.25	1
14	H13	Prominent seta(e) on palpus	0	2<	1
15	H14	Female palpus	0	not so large	1
16	T1	Scutum	0	dark brown to black	1
17	T2	Distinct dark or black, longitudinal stripes on scutum	0	absent	1

シートの構成

1行目	見出し
2行目～	データ

カラム名	個数	説明
Character	1	形質の名前
Character Definition	1	形質の説明文：主語
Value Value Description	複数	形質状態の値(Value)と説明文 (Value Description) <ul style="list-style-type: none"> ・ 「Value」、「Value Description」とともに必須。 ・ 数値形質（シート：Character Matrix で、Type=number 指定）については、入力しなくてよい。 ・ 登録する値の分だけ「Value」、「Value Description」を入力。

15.Excel データについて / 制限事項

< アップロード時の制限事項 >

- ・ 構造登録後、画像を除く、全てのデータを Excel ファイルで準備でき、アップロードすることで、データを構築できるが、画像登録済みのデータベースに対して分類群名(最上位と最下位の階級)、分類群の順序(行を移動)、形質名を変更してアップロードすると、画像情報の関係付けが切れ、登録画像を参照できなくなる(形質の順序の変更は可)。画像の再登録が必要！

< その他 >

- ・ 動作確認しているのは、Excel2000 のみ。
- ・ Excel ファイルに何らかのメタデータ(印刷設定など)を埋め込んでしまった場合、アップロードできなくなってしまう。

以上

データベース構築の推奨手順

- 1) 「構造」(分類名、分類階級数、形質グループ数)をオンライン登録
- 2) 「分類階級」の名前を入力、末端分類階級の画像のみ True にセットして、オンライン登録：分類階級名については、4)の後、Excel ファイルで編集(オフライン)して一括アップロード登録してもよい。その場合、末端分類階級の画像の True セット(オンライン)は、6)の後可能となる。
- 3) 「形質グループ」オンライン登録：4)の後、オフライン編集・アップロード登録してもよい。
- 4) データベースを Excel ファイルにダウンロード
- 5) 「分類群」、「形質定義」、「形質の値」を Excel ファイルでオフライン編集
- 6) Excel ファイルをアップロード
- 7) 「未分類群」で、登録したデータで区別できない末端分類群をチェック
- 8) オンラインあるいはオフラインで、上記分類群を区別するための形質情報を追加
- 9) 「条件検索」で条件をオンライン設定
- 10) 「データベースの説明」をオンライン登録
- 11) 「構造」で、サムネイル画像の属性 フォーマット：jpeg、縦サイズ をオンライン設定：サムネイル画像のサイズは、試行してから決めた方がよい(サイズの変更をしても、既登録画像には反映されない。"Drosophilidae of Hokkaido (northern Japan)"データベースでは、縦サイズを 200 に設定している)
- 12) 「分類群」で、末端分類群の画像(複数可)をオンライン登録
- 13) 「形質定義」で、形質状態画像(複数可)をオンライン登録
- 14) 随時「バックアップ」を行う。
- 15) データベースの拡張、編集は、オンライン/オフラインでできる：ただし、オンライン編集の場合は、登録順番の制限事項に、オフライン編集・アップロード登録する場合は、Excel ファイルアップロード時の制限事項に注意すること。
- 16) 編集作業によりデータベースがおかしくなったら、好きな時点の「バックアップに復元」できる。